

よかったね

給食費が無償化に

令和5年6月定例会が6月8日から6月28日まで（21日間）開催され、審査の結果、7件の全議案を可決しました。

今回の補正予算は、「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指して、事業・施策の7本柱と5つの方針・目的により、さらなる移住定住の促進を図るための補正予算となりました。ここでは主な内容をピックアップして紹介します。

小中学校の学校給食を無償化

9,798万円

市内在住の児童生徒の給食費を無償化し、物価高騰の影響を受けている保護者の負担を軽減します。今年度については、小学校は3学期から、中学校は2学期から開始します。

	2学期	3学期
中学校	無償	無償
小学校	従来通り	無償



Q 無償化に向けて、どのような議論がされてきたか

A 国が異次元の少子化対策を検討しているなかで、能美市版の異次元の少子化対策を進める場合に、どのような政策が良いのかを議論してきた結果、今回の給食費無償化に至った。

能美市議会では、これまで一般質問の中で給食費について幾度となく触れてきました。無償化も含め、様々な支援を市に提言してきたなかで、ようやく給食費の無償化が実現されました。

今後も市に対して様々な提言を行っていきます。

Q 次年度以降も継続する場合、どのように財源を確保するのか

A 能美市独自の支援策として次年度以降も継続して実施できるように努めていきたい。今後の国の動向を注視しつつ、事業・施策のスクラップアンドビルドや事務事業の見直し、デジタル技術を活用した事務処理の効率化など、総合的に取り組む中で財源確保を図っていきたい。

給食費に関する一般質問一覧

- ・令和3年第1回定例会
- ・令和2年第4回定例会
- ・令和元年第2回定例会
- ・平成30年第4回定例会
- ・平成29年第4回定例会
- ・平成26年第1回定例会

その他の議案や事業の内容は市ホームページをご覧ください。



※金額は1万円未満を切り捨てて表示

スマートインクルーシブシティを推進

1,700万円



デジタル技術について高い専門性と豊富な経験及び知見を持つプロ人材の派遣を受け入れます。

Q 補正予算額の積算根拠を問う

A プロ人材にかかる委託料を計上し、経済産業省が示した基準を元に算出している。

☑ スマートインクルーシブシティ … 孤立せず、住み慣れた地域で安心して生活できるまちを実現する仕組みのこと。

私はこう考える！ 討論で

「賛成」 「反対」

能美市税条例の一部を改正する条例について

反対

近藤 啓子 議員（日本共産党）
二重課税は認められない
森林環境税は企業負担がなく、また、いしかわ県森林環境税との二重課税となるものである。

賛成

中村 純子 議員（能美保守の会）
適切な所要の改正
地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令などが公布されたことに伴う改正である。

令和5年度能美市一般会計補正予算（第3号）

反対

近藤 啓子 議員（日本共産党）
地方自治体の団体自治の侵害
給食費無償化には賛成であるが、スマートインクルーシブシティ推進事業においては自治体の主体性が見えない。

賛成

中村 純子 議員（能美保守の会）
事業遂行のために必要な補正予算
給食費無償化のほか、エネルギー価格高騰等の影響を受けた事業者への補助など、市民生活に密着した予算編成である。

6月定例会 議決結果と議員の賛否



全議案の議決結果は市ホームページで公開しています

全7議案のうち 賛否が分かれた2議案 (○：賛成 / ×：反対)	議決結果	荒井昌宏	中村純子	澤田貞	今尾晃司	山下毅	卵野修三	北村周士	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	田中策次郎	南山修一	東正幸	近藤啓子	杉田隆一
能美市税条例の一部を改正する条例について 法律の施行に関し、必要な事項を定めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	○
令和5年度能美市一般会計補正予算 移住定住促進につなげる補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※議長は採決を行いません